

## B-47 シーム・パッカリングの判定に関する 基礎的実験

京都女子大 北田 総雄  
帝塚山学院短大 ○南日 朋子

シーム・パッカリングに関係する最終的なパッカリング量として、縫縮率及び縫ずれ率を考え、これらの数値と外観判定及び縫糸の縫絡点の位置との関係について検討し、先には縫製布の洗濯前における場合の一部について発表した。今回は洗濯後のそれらの関係についての実験結果を検討し、併せて洗濯による変化を調べる目的で行なった。

布、縫糸、回転数、縫糸張力などを変化させた種々の縫製条件の下で約 60 枚の試料を縫製し、それらの洗濯後の縫縮率、縫ずれ率を測定し、それらと AATCC 法による外観測定との関係を考察し、また上・下縫糸の縫絡点の位置を 5 段階に等級付けした判定結果との関係も同様に考察し、それらの判定結果が洗濯によってかなり変動することを認めた。さらに洗濯の有無にかかわらず、外観と高度に相関するのは縫縮率であることを確かめた。その他 2, 3 の知見について報告する。